

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告(1/7)

種目(教科等)【社会(公民的分野)】

項目	教科書名(新編 新しい社会 公民)	会社名(東書)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○現代社会に対する関心や意欲を喚起し、現代社会における今日的課題を考えて解決するようになっている。また、平易な本文記述、図表、写真、多くの資料等を通じて、民主主義のしくみを理解し、学習内容を深めるようになっている。</p> <p>○身近な話題や現代の社会的事象について短時間で取り組める言語活動を設け、多面的な考え方を育成するようになっている。また、単元のまとめにより、表現する力が身に付くようになっている。</p> <p>○領土をめぐる問題や地球環境問題など、我が国や国際社会が抱える諸問題について、積極的に寄与する態度を養うようにしている。持続可能な社会の形成について、一人一人ができることを考えるようになっている。</p>	
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○見開きの初めに示す「学習課題」に対し、最後にまとめを行う「確認」を設け、学習内容を確実に定着させるようにしている。また、社会的事象や資料の見方を学習する「公民にチャレンジ」や「効率と公正」マークを設け、知識や技能の定着を図るようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「だれを市長に選ぶべき？」等、各章の初めにシミュレーションを取り入れた学習を設定し、章末でさらに発展させ追求することで、思考力等を高めるようになっている。</p> <p>○各単元の最後にまとめの言語活動を設けることで表現力等の育成を図っている。また対立と合意等について、これらを活用して考える話し合い活動を各章に設けている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○本文の内容に関して「公民にアクセス」や「インタビューコラム」を掲載することにより、興味・関心を高めるようにしている。また、学習内容に関わる内容を「公民にチャレンジ」で取り上げ、主体的に学習内容を深めるようになっている。</p> <p><民主主義に関する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「公民にアクセス」の中で「ハンセン病と人権」や「高齢者の人権と生活保障」等の個人の尊厳や生徒の日常生活に関連する人権の尊重について考えるようになっている。</p> <p>○「深めよう」では、歴史で学んだ知識を踏まえて「アイヌ民族と先住民族の権利」について考え、国際的な権利保障の視点からも学ぶようになっている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○各章の学習を興味・関心を持たせる導入部→学習を進める展開部→章の学習をまとめる終結部という流れで構造化し、知識や概念が習得できるようになっている。また、導入部と終結部の教材に関連性をもたせることで、章の学習の流れを明確化し、学習の成果を終結部で活用しやすくしている。</p>
	資料	<p>○A B判のサイズを活用し、多くの資料を掲載している。三分野の関連を図った、グラフ・資料等が掲載され、関連が明示されている。</p> <p>○巻末の「参考法令集」では、憲法・法律等を掲載し、日本国憲法の難しい語句に側注で解説を付けている。また、巻末に「用語解説」を設け、難しい用語の解説を掲載している。</p> <p>○それぞれのページの学習内容に合った写真、表、読み物、グラフなどを配置している。また、学習の深化を図るために「公民にチャレンジ」を設けている。</p>
	表記・表現	<p>○文体は敬体で、重要語句は太字で示し、側注で語句を解説している。また、学習課題を明示している。</p> <p>○活動や課題は各種のマークで示されていて、活動等に取り組むようになっている。また、関連事項が分かるように、本文に「→p○○」と書かれている。</p> <p>○資料には見開きごとのまとめで、通し番号を付け、対応する本文の上に該当の番号を付している。</p>
	総括	<p>○紙面はA B判である。学習課題に対して、本文、資料等によって基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、「確認」等でそれらを定着させるようにしている。また、個人やグループで行う作業や活動をまとめた「公民にチャレンジ」や調査学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付ける「調査の達人」、本文中の内容を詳しく説明したり、関連する内容を取り上げたりする「公民にアクセス」といったコーナーを設けることで、学習内容を深め、主体的に学習を進めるようになっている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告(2/7)

種目(教科等)【社会(公民的分野)】

項目	教科書名(中学社会 公民 とともに生きる) 会社名(教 出)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○身近な事例を数多く紹介し、人権尊重の大切さ、権利、義務とは何かについて考えられるように工夫されており、民主主義のしくみについて理解し、考えを深められるようになっている。</p> <p>○それぞれの学習テーマに対し、生徒の思考力・判断力・表現力の育成が図れるよう、様々な事例を紹介し、問題提起をすることで、生徒の社会的な見方、考え方を培うようになっている。</p> <p>○国際社会に生きる私たちが直面している領土問題、地域統合、紛争、環境などについて、自国を大切にしながら、人類が抱える課題の解決を目指す人間として、その役割を考えることができるようになっている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫></p> <p>○各章の終わりに「学習のまとめと表現」のページを設け、学習内容の整理と確認の問題演習ができる工夫がみられる。資料庫では関連のある書籍や博物館などを紹介している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「読んで深く考えよう」では、資料を読み深めていくために、6つのテーマ学習を紹介するなどの工夫が見られる。</p> <p>○「マンションの駐車場問題について」「もしも私が裁判員になったら」「街づくりのアイデア」など、シミュレーション学習やポスターセッション、プレゼンテーションを通し、思考力を高め、表現力を育成する学習活動が設けられている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○この時間の学習のきっかけや追究の中心となるような資料を数多く掲載し、「見てみよう」の解説文と共に紹介することで、生徒の興味関心を高め、学習内容に見通しを持って主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p><民主主義に関する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「言葉で伝え合おう」では「犯罪の防止か、プライバシーの保護か」「もしも私が裁判員裁判に参加したら」など、ディベート等を通して、表現活動を中心としたテーマ学習が設定され、思考力、表現力を育成するようになっている。</p> <p>○「読んで深く考えよう」では、「ともに生きる社会を目指す人たち」を紹介し、人間尊重の立場から、人権について考え民主主義に対する理解を深める工夫がある。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○「未来への私の約束」という今後の生活や学習への取り組みの宣言文の作成では、1年生から学習を進めてきた地理・歴史などの既習事項を活用して、生徒に「P・D・C・A」を意識した積極的な社会参画の意識を持たせるなどの工夫が見られる。</p> <p>内 容</p> <p>○「公民の窓」「クリップ」を設けることで、学習内容から興味や関心を広げ、さらに深めていくことができるコラムが、数多く掲載されている。</p> <p>○巻末に、学習資料編として「日本国憲法」「諸法令集」が掲載され、理解の難しい語句については、解説を付けている。また、「用語解説」が設けられ、さくいんが掲載されている。</p> <p>○最新の時事問題を扱い、写真を多く掲載している。また、生徒にとって分かりやすいイラストを数多く掲載することで、学習への理解を促す工夫がされている。</p> <p>資 料</p> <p>○文体は敬体で、重要語句は太字で示している。内容が関連するページや、参考になる巻末資料(憲法、法令集、用語解説)のページを参照として載せられている。</p> <p>○側注解説として本文を補足する解説や、難しい語句の説明をしている。また、資料ナンバーを入れることで、本文記述と資料との関連を示している。</p> <p>○見開き2ページを一つの学習テーマとし、初めに「学習課題」を設定し、終わりの「ふりかえる」では、学習内容を確認し、活用して表現することができるようになっている。</p> <p>表記・表現</p>
総括	<p>○紙面はA B版である。はじめに公民の学習の導入として、「公民の学習を始めるにあたって」では、学ぶ内容、学び方、公民のノートづくりについて紹介されており、また、持続可能な未来を築いていくために、私たちはいったい何ができるのだろうか」を中心テーマに設定し、各単元で人権、政治、環境、平和、経済、資源、文化についてそれぞれ理解を深め、私たちが暮らす現代社会の現状と課題の解決に向けた学習の工夫がされている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告(3/7)

種目(教科等)【社会(公民的分野)】

項目	教科書名(中学 公民 日本の社会と世界) 会社名(清 水)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○私たちが生きる現代社会について、生徒の関心・意欲を喚起するような事例を取り上げ学習できるようになっている。民主主義については、具体的な事例を用いて今日的課題に気付かせ、考え方やしくみを通して学べるようになっている。</p> <p>○社会的な事象や現代的課題について、作業学習や調べ学習などを行い、多面的・多角的に考察できるようになっている。また、生徒が自ら社会のつながりを中心に思考を深めるような視点を設けている。</p> <p>○地球規模の課題の解決と国際社会全体の平和について、生徒が自らの課題として取り組めるようになっている。また、未来を切り拓く持続可能な社会の形成については、身近な生活に即した題材を取り上げ、日常生活に深いつながりがあることを学ぶようになっている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○明瞭な本文内容と側注の補助説明等によって、事象への理解が進み、学習内容が定着するようになっている。また、「深める公民」「もっと知りたい公民」は基礎的・基本的な知識とともに、資料等を使いさらに具体的な事象について学べるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○本文の説明と合わせ、「調査」マークの問いかけを設けることで、思考力等を育成するようになっている。</p> <p>○「私たちと現代社会」では、「対立と合意」等について、身近な例で説明し、現代社会の見方や考え方にそって考察できるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○単元の導入部では、扉ページに学習内容に関係する人物の活動等を取り上げたり、テーマを提示し、それに対して問いかけを行ったりすることで、興味・関心を高め、単元の内容について主体的に学習を進めるようになっている。</p> <p><民主主義に関する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「深める公民」の中で、冤罪とそれを防ぐものとしての憲法の役割に触れ、再審により無罪になった事例を通じて、人権の尊重の大切さを学ぶようになっている。</p> <p>○「深める公民」の中で、「ハンセン病患者の長いたたかい」や「部落差別の撤廃をめざして」を通して、個人の尊厳と人権の尊重について考えることができるようになっている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○見開き2ページで1時間の授業が展開できるように設定し、導入部として「目標」マークで生徒への具体的な問いかけから各単元の学習の課題が把握できるようになっている。また細かな解説や補足が必要と思われる箇所には、「注」を設けて説明し、生徒が理解を深められるようになっている。</p>
資料	<p>○巻末には憲法、法令、条約などを掲載しており、日本国憲法では、用語の解説がある。また「現代社会のうごき」を年表としてまとめている。</p> <p>○学習に内容を深める「深める公民」や、関連するテーマについて探究する「もっと知りたい公民」で、発展的な資料を掲載している。</p> <p>○それぞれの本文中のページの学習内容に関連している写真、表、読み物、グラフなどを配置した構成になっている。</p>
表記・表現	<p>○文体は敬体で、本文は平易で丁寧な文章表現で、重要語句を太字で示し、側注で語句の解説をしている。見開きページには学習目標が書かれている。</p> <p>○「知識」のマークでは、本文に関連する事柄について、資料や条文などの具体的な内容を示している。</p> <p>○活動や課題を各種のマークで示しており、活動等に取り組むようになっている。本文に「→p○○」と書かれ、関連事項が分かるようになっている。</p>
総括	<p>○紙面はB判である。各編の最初に、学習内容に関連する人物の言葉を掲載している。特設ページ「もっと知りたい公民」では、学習内容に関連するテーマを図版や写真を用いて解説している。また、学習内容の深化を図るため「深める公民」を設けている。本文中には学習目標や補足説明を記号で示し、学習内容の確認ができるようになっている。最終章の最後に地理、歴史、公民的分野のまとめとして、「もっと知りたい公民」の中で「卒業論文を書いてみよう」という課題ページを設けている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告(4/7)

種目(教科等)【社会(公民的分野)】

項目	教科書名(社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして) 会社名(帝国)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○学習内容と結びつく、身近な事例や現実の社会の動きから学べるようになっている。また、社会を形成する人々の様々な工夫や努力を通じて、民主主義の仕組みや課題を考えるようになっている。</p> <p>○現代社会の諸課題について、解決に向けた様々な取組をまとめていて、多面的・多角的に考えるようになっている。また、効果的な作業や活動を通じて自分の意見をまとめ表現力を高めるようになっている。</p> <p>○国際社会に貢献する我が国の長を理解し、それを形成する公民として必要な基礎的素養を培うことができるようになっている。また、自ら進んで主体的に持続可能な社会の形成に参画する態度を養うようになっている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○設定された学習課題に対して、「確認しよう」「説明しよう」を設け、学習した基礎的・基本的な内容を理解できたか確認するようになっている。また、「トライアル公民」では、資料の活用や技能、調査の方法の習得を図れるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「トライアル公民」では、「効率と公正」「公共の福祉」等に関わる「対立」や、よりよい社会について考える課題を提示し、ディベート等の活動を通じて「合意」の形成や解決策を考え、表現する場面を設定し思考力の育成を図っている。</p> <p>○各時間の「説明しよう」の活動を通して、「対立と合意」等の考え方を全編を通して繰り返し扱い、思考力等を育てるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○見開きの最初に大きな写真を用いた「クローズアップ」で具体事例を配置することで、興味・関心を喚起し、主体的に学習を進めるようになっている。また、「学習をふりかえろう」では、まとめの第5部につながる課題を提示し、興味・関心を高めている。</p> <p><民主主義に関する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「人権」のコラムでは、生徒にとって身近な視点で捉えることができる「タレントにもプライバシーはある？」や「インターネットと人権」について考えるようになっている。</p> <p>○現代社会に残る差別では、「クローズアップ」で部落差別やアイヌ民族、ハンセン病等さまざまな差別の具体例をあげて、個人の尊厳や人権の尊重について考えるようになっている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○見開きの最初に、学習内容に関連した具体的事例を設定し、現代の社会と学習内容との橋渡しができるようになっている。本文や資料での学習を踏まえ、見開きの最後に学習内容などを確認する作業を設定し、知識を定着できるページを設け、学習内容を自分の言葉で説明することにより、自分なりに学習を整理し、表現力を高めるきっかけも示されている。</p>
資料	<p>○巻頭には「世界で活躍する日本人」を掲載し、巻末には、学習内容、身近なできごとと関わる憲法・法律・条約等が掲載されており、憲法には用語の解説を設けている。</p> <p>○各部の初めに身近な出来事と結びついたイラストや資料からの読み取り・考える作業を行うページも設けている。</p> <p>○見開きの「クローズアップ」では、学習内容に係る実社会の動きを取り上げた導入資料の「声」において、実社会で活躍する人々の声が掲載されている。</p>
表記・表現	<p>○文体は敬体で、重要語句は太字で示され、側注には語句の解説や補足説明がされ、また地理的分野・歴史的分野との関連用語が掲載されている。</p> <p>○本文中には、資料との関連を示す番号が付され、前出・後出箇所との関連を示す参照ページが「→p○○」の形で示されている。</p> <p>○見開きの左ページに学習課題を明示し、ふりかえりとして「確認しよう」、学習の深化として「説明しよう」を設けている。</p>
総括	<p>○紙面はA B判である。巻頭では公民的分野の学習について「年齢に応じてできること」や「夢に向かって」で示している。各部の始めに「学習の前に」を示し、学習内容についてイラストや写真を見ながら身近なできごとと結び付けて考えさせている。未来の社会をつくるために参考になる取組を紹介するコラムには「羅針盤マーク」がついており、少子高齢化、情報化等について紹介されている。授業の後に活用する「確認しよう」「説明しよう」では基礎・基本の定着と言語活動の充実を図っている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告(5/7)

種目(教科等)【社会(公民的分野)】

項目	教科書名(中学社会 公民的分野) 会社名(日 文)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○人権とは何かについて、最新の時事的問題を数多く掲載し、身近な事例を通して、自由、権利、義務について考え、民主主義に関する理解を深めることができるよう工夫がされている。</p> <p>○現代社会が抱える課題について示すとともに、それぞれの立場の見方、考え方を紹介し、多面的な見方、考え方を養い、課題解決について考え、自分自身の考えを表現するなどの工夫が見られる。</p> <p>○主権、国際社会の在り方、国際社会での日本の役割を明示し、「チャレンジ公民」のページでは、地球温暖化に対する政策を考えるロールプレイを取り入れるなど、人類の課題について自覚を持たせる工夫が見られる。</p>
特色	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫> ○最新の統計資料、写真、新聞記事、分かりやすいイラストなどの資料が数多く掲載され、生徒の学習内容理解への手助けになっている。学習のまとめとして、「学習の整理と活用」のページを載せることで、学習内容の習得を図る工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成させる工夫> ○「ズームイン」では具体的なテーマを掘り下げて、学習内容を多面的・多角的にとらえる工夫がみられる。</p> <p>○見開き2ページに一つの学習内容がまとめられており、「言語活動コーナー」では、図版の内容を読み取ったり、読み取ったことをもとにして判断・表現したりする活動ができるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○各章の初めに、「現代社会はどんな社会だろうか?」「くらしのなかから政治を考えよう」など、学習内容の導入として、学習の必要性を説明し、生徒が意欲的に学習に取り組めるよう配慮している。</p> <p><民主主義に関する理解を深めさせる工夫> ○「明日に向かって」では、『15歳は「子ども」?それとも「大人」?』というテーマで、15歳の権利と制限を手がかりに、大人になるとはどういうことか考えを進めていく内容になっている。</p> <p>○「合唱コンクールでの練習場所の割り当てについて」の事例などでは、身近な生活の場面から「対立・合意」「効率・公正」について考え、民主主義とは何かについて考える工夫がされている。</p> <p><国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫> ○導入ページ「ナビ」では編の学習の基礎となる考え方を示し、楽しく学習を進めていけるように配慮されている。各ページに学習内容と関連した情報が紹介され、幅広い知識の習得に役立っている。「公民プラスα」では学習を深められるよう工夫がされている。</p> <p>資料</p> <p>○巻末に、学習資料として法令集、用語解説、類似用語集、さくいんがあり、本文中で太字で掲載されているものについては、分かりやすいよう赤で記載されている。</p> <p>○最新の時事問題を扱い、写真を多く掲載するなど、学習効果を高める工夫がされている。分かりやすいイラストも多く、生徒の学習内容理解への手助けになっている。</p> <p>○「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」「明日に向かって」など、教科書全体に考え方や技能を応用することができる特設ページが掲載されている。</p> <p>表記・表現</p> <p>○文体は敬体で、重要語句は太字で分かりやすく示している。活動や課題は各種のマークで示されている。本文中に○の数字番号を入れ、資料の提示や記述された語句の説明が丁寧にされている。</p> <p>○ページの左隅にインデックスが設けられており、学習内容を全体のなかに位置づけて学習を進めることができるよう工夫がされている。</p> <p>○各ページの欄外に、連携コーナーの矢印が入れられており、1、2年生で学習した歴史や地理との学習のつながりを示し、学習内容を振り返ることができる工夫が見られる。</p> <p>総括</p> <p>○紙面はAB版である。見開き2ページに学習内容がまとめられている。冒頭の「導入」では、内容の入り口になる資料とそれに関係する問いかけを設けている。学習課題を明記し、「学習の確認と活用」では、学習の理解を確実にする活動や、その知識を使ってその問題に取り組む問をしめすなど、学習内容を確認し、さらに発展させる工夫がされている。授業で取り組めるアクティビティでは、具体的な作業を通して、学習内容を深めるようになっている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告(6/7)

種目(教科等)【社会(公民的分野)】

項目	教科書名(新しい公民教科書) 会社名(自由社)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○権利や義務が歴史上にどのように確立し、現在にもたらされているものなのか、他国や日本の事例を基に紹介するとともに、「ミニ知識」では、各権利の理解を深めることができるようになっている。</p> <p>○「もっと知りたい」では、安全保障、情報化、年金、領土問題などを取り上げ、現代社会の特色や課題について触れ、社会についての見方、考え方を養えるように工夫されている。</p> <p>○日本を取り巻く国際社会の状況を学び、様々な課題で複雑に結びついている現代の国家間において、各国が主権を尊重しながら協力し、私たち一人ひとりに取り組むべきことは何か考えることができるようになっている。</p>
特色	<p>＜基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫＞ ○各章の学習のまとめとして、最重要語句の確認があり、各単元での学習内容を確認することができるよう配慮されている。学習の発展では、学習内容を深める課題を設定し、論述する作業を示すことで、学習内容の習得を図る工夫がされている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞ ○「もっと知りたい」では、具体的な内容を掘り下げ、様々な見方・考え方を紹介することで、生徒の思考力、判断力を育てる工夫がされている。 ○終章の「課題の探求」では、ディベートの活動を取り入れ、議論の学習の仕方を学ぶとともに、話し合いを通して、思考力、判断力、表現力を育成するようになっている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞ ○終章の「持続可能な社会を目指して」では、レポートと卒業論文作成を通し、学習した知識を活用して、現代の課題について調査・研究をし、プレゼンテーションするための手立てが紹介されている。</p> <p>＜民主主義に関する理解を深めさせる工夫＞ ○「もっと知りたい」では、「基本的人権思想の発展」「権利の平等に関する問題」について詳しく触れ、個人の尊厳と人権尊重の意義を認識させる工夫がみられる。 ○統計資料、写真、新聞記事、分かりやすい図などの資料が数多く掲載され、民主主義に関する理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>＜国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫＞ ○学習のきっかけや追及の中心となるような資料を数多く掲載し、生徒の興味関心を高める工夫がされている。「ミニ知識」では、生徒の興味関心を喚起する面白いコラムを紹介することで、公民の重要な言葉や事柄を学習しやすくするなどの工夫がされている。</p>
資料	<p>○学習資料として法令集がある。さくいんでは、各単元の中で学習効果を高めるために、ゴシックにした重要語句を収録し、太字でページ番号が示されている。</p> <p>○巻頭では、「すごいぞ 日本の技術は」において、ITSやLEDなど、世界に誇れる日本の先端技術が紹介されている。巻末では「我が国の領域」について、大きな地図で分かりやすく示されている。</p> <p>○学習を深めるために、《ミニ知識》《紹介する人物》が掲載され、聖徳太子については、歴史での学習を振り返りながら、宗教、日本の政治文化、国旗などについて学習が進められるようになっている。</p>
表記・表現	<p>○文体は敬体で、重要語句は太字で示している。本文中に□を入れ、難しい語句の内容を説明したり、深める内容が掲載されている。</p> <p>○「ミニ知識」では公民の重要な言葉や事柄を学習する際に、ヒントとなる記事が掲載されている。</p> <p>○見開き2ページを一つの学習テーマとし、初めに「学習課題」を設定し、終わりの「ここがポイント」では、学習内容を確認することができるようになっている。</p>
総括	<p>○紙面はB版である。各章の学習のまとめとして、最重要語句の確認があり、各単元での学習内容を確認し、基礎、基本の定着が図れるよう工夫されている。学習内容を深めるために「ミニ知識」「紹介する主な人物」「もっと知りたい」では、具体的な内容を掘り下げたり、様々な見方・考え方を紹介し、生徒の興味関心を高め、思考力、判断力を育てる工夫がされている。また、社会の他分野での学習内容と関連させながら、公民の学習を深める工夫がされている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告(7/7)

種目(教科等)【社会(公民的分野)】

項目	教科書名([新編] 新しいみんなの公民) 会社名(育鵬社)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○現代社会の理想と現実を、写真資料や新聞記事等を用いて学べるようになってきている。民主主義を理解するため、各章の導入で学習内容の趣旨をとらえさせるようにして、興味・関心を喚起するようになってきている。</p> <p>○現代社会についての課題を、本文と資料、新聞記事等を通して、多面的・多角的に考察できるようになっている。また、学習内容を深める課題が示され、表現力等を育むような構成になっている。</p> <p>○国際社会の諸課題について、国家間の主権や国際協調などに気付き、興味や関心を高めるようになってきている。また、持続可能な社会の形成についての考えを、諸資料を通してまとめるようになってきている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○見開きの初めに学習目標を示し、頁末にまとめ問題を設定している。章末の「学習のまとめ」のワークシートにより、重要語句を確認し知識を習得できるようになっている。「やってみよう」によって資料の比較や調査の仕方等の技能の習得を図っている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「やってみよう」では、意見が対立している事例について、新聞の社説を両論併記して、それを題材にディベートする際、多面的・多角的な考察の視点を養うようになっている。</p> <p>○章末の「学習のまとめ」で「対立と合意」「効率と公平」等に関する出題をし、繰り返し考えることで、思考力等を育成するようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各章の導入に「入り口」を設け、各章の学習につながる内容について討議・発表活動を行い興味・関心を高めるようにしている。また「理解を深めよう」や「考えよう」で、本文と関連し、より具体的な事実や社会における課題について扱い、個々の関心・意欲に応じて主体的に学習を進めるようになっている。</p> <p><民主主義に関する理解を深めさせる工夫></p> <p>○「理解を深めよう」の、「ネット社会とつき合うために」等では身近な、「世界の人権問題」等では世界的な視点から個人の尊厳や人権について考えるようになっている。</p> <p>○「考えよう」の中で、「男女の平等と家族の価値」や「道徳的価値観」から人権について考えるような構成になっている。</p> <p><国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫></p> <p>○興味・関心を喚起する導入資料を挿絵の人物の吹き出しで課題確認させ、物事の因果関係を丁寧に述べた本文と図版・写真資料などを掲載している。学習内容を確実に定着させるように、学習のまとめを設け、見開きで学習内容が理解できているか確認したり学習内容を深めたりする課題を提示している。</p>
資料	<p>○巻頭には「私たちを取り巻く課題」、「世界で活躍する日本人」が掲載され、他人事を自分事としてとらえるための資料として「自分の過去・現在・未来シート」を設けている。</p> <p>○巻末の「学習資料」では日本国憲法のほか、関係する法令集や調査活動の際に活用できるウェブサイトが掲載されている。</p> <p>○第2章以降では、章ごとに学習内容の入り口となる導入資料が、章の最初に提示されている。また、それぞれのページの学習内容に合った写真、表、読み物、グラフなどが配置されている。</p>
表記・表現	<p>○文体は敬体で、重要語句は太字で示され、側注では語句の解説や補足説明がされている。ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取れるようになっている。</p> <p>○本文中には、資料との関連を示す番号が付され、前出・後出箇所との関連を示す参照ページが、「→p 00」の形で示されている。</p> <p>○活動や課題は各種のマークで示されていて、課題解決に近づくための取組ができるようになっている。</p>
総括	<p>○紙面はA B判である。最初に「なぜ『公民』を学ぶのか?」が掲載されている。「人生モノサシ」では、自分の将来設計について考えさせている。各章にある「やってみよう」や「理解を深めよう」では、学習内容を深化させる調べ学習を行うための資料が掲載されている。各章のまとめでは「学習のまとめ」を設置し、重要語句や基本的事項の確認ができるようになっている。各章の導入に、学習内容の趣旨をとらえさせる「入り口」の見開きを設け、学習内容への興味・関心を促すようになっている。</p>

